

寄居町への 移住相談を受け付けています！



移住相談窓口紹介

窓口名

移住・定住相談窓口

住所

寄居駅南口駅前拠点施設 Yotteco(ヨッテコ)内
(埼玉県大里郡寄居町大字寄居1231番地11)

電話番号

048-580-7307

相談受付時間

9:00～17:00(年末年始を除く)

寄居町内にある宿泊施設紹介

ホテル	亀の井ホテル長瀬寄居	048-581-1165
ゲストハウス	泊まれるオーガニックレストラン mujaqui(むじゃき)	https://mujaqui.jp/ 050-8884-8162
民泊	帰宿穩坐(きしゅくおんざ)	onza.iien@gmail.com
	民泊 やまき園	048-581-6893

寄居町の最新情報に
ついてはこちら



問い合わせ

移住・定住担当 寄居町 企画財政課
電話:048-581-2121 メール: kz021g@town.yorii.saitama.jp

可能性 ∞ むげんだい



寄居町移住ガイドブック

寄居日和

Yorii Biyori



MEET よりい

～寄居で見つける理想の暮らし～

「発見！この町、私にあっていくかも！」

水がきれいな自然のそばで暮らしたい。でも不便な暮らしはしたくない。

トカイナカでのびのび子供を育てたい！

週末はバーベキューなど、自然にすぐアクセスできる環境で暮らしたい！

そんなあなた、寄居町はどうか？

町内にはスーパーや病院がそろい、高速道路や電車を使えば、

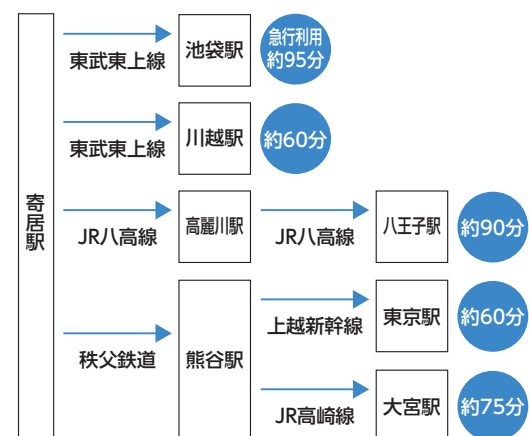
都内への移動や週末レジャーも楽々出かけられます。

寄居町であなたにピッタリな暮らし、見つけませんか？

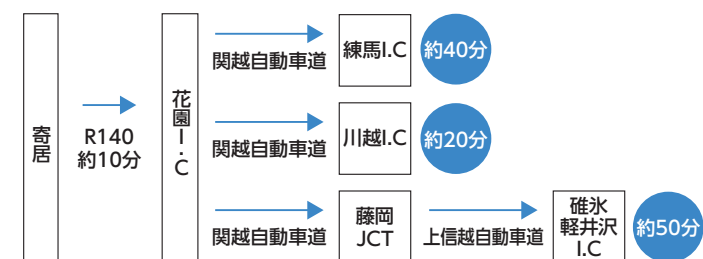
*トカイナカ…都会(トカイ)の利便性と、田舎(イナカ)暮らしが両立している地域を指す造語。

ACCESS

電車をご利用の場合



車をご利用の場合



CONTENTS

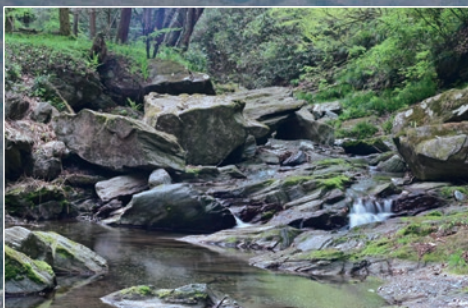
- P01-02 目次・交通アクセス
- P03-04 寄居町ってこんなところ！
- P05-06 よりいMAP
- P07-08 移住者インタビュー(子育て編)
- P09-10 移住者インタビュー(起業編)
- P11-12 制度紹介(子育て・教育)
- P13-14 制度紹介(住む・就業)
- 裏表紙 移住相談窓口紹介、宿泊施設紹介



JAPAN
SAITAMA

寄居町って
こんなところ!

歴史と自然が息づくまち



寄居町は埼玉県の北西部、都心から約70km圏に位置する町です。町の中央を荒川が流れており、「名水百選」、「水の郷百選」、「水源の森百選」に認定される、水環境に恵まれています。



かわせみ河原(鉢形地区)では、年間を通してキャンプやバーベキューなどを楽しむことができます。近くには荒川を体験・学習することができる埼玉県立川の博物館もあり、休みの日には多くの家族連れでにぎわいます。



寄居町には公益財団法人日本城郭協会から日本100名城の認定を受けた鉢形城跡があります。町の中央にある玉淀河原対岸の崖は、西から東へ流れる荒川によって作られた河岸段丘となっており、その昔は鉢形城を守る天然の要害となっていました。また、風布・小林地区では、北条氏が小田原から移植したのが始まりといわれているみかん畑が広がっており、秋にはみかん狩りが楽しめます。



三ヶ山緑地公園(鉢形地区)には、陸上競技用400mトラック、全面芝生張りの多目的広場のほか、寄居町が一望できる展望台「風のとりで」、円形広場、ちびっこ広場、あずまや等が配置されています。また、防災調節池の周辺には水辺テラスや遊歩道が設置されており、公園内には桜、つつじ等の花植木が植栽され子どもから大人まで楽しめる公園となっています。

寄居町平均気温

(気象庁気象データより)

夏
28.5度
(2023.8)

冬
3.0度
(2023.1)

関東平野にある寄居町は晴天と北風の影響を受けやすく、寒暖の差があることで、四季折々の特色が感じられる気候です。

歳時記

- 4月 金尾山つつじまつり
- 5月 寄居北條まつり
- 6月 アユ釣り解禁
- 7月 寄居夏まつり
- 8月 寄居玉淀水天宮祭
- 9月 タカの渡し
- 10月 みかん狩りオープン
- 11月 寄居秋まつり
産業文化祭
クラシックカーパレード



地震に強い硬い地盤

岩盤層の上に位置するなど、地盤が比較的安定した地域と考えられています。企業などの情報資産等の保管にも適した条件を持ち、保管施設の立地場所としても選定されています。

5月に開催される寄居北條まつりや、8月に開催される寄居玉淀水天宮祭など、季節のイベントがたくさんあります。

住むなら埼玉移住サポートセンター 鎌田相談員もオススメ!

自然が豊かで静かな町の印象を受けますが、祭りが多く“熱く陽気な”多面性を感じられるのが寄居の魅力です。日々の暮らしを楽しみたい方、人や地域との繋がりを大切にしたい方に寄居をお勧めします。

寄居町をもっと知りたい方へ!



ホームページ



X



Instagram



YouTube



note



愛される町民の足!

愛のリタクシー

自宅から役場や駅、町中の病院などの共通乗降場までの道のりを、
1回乗車(片道)300円で利用できる相乗りタクシー制度。

生活スポット

- 公共施設
- 見どころ
- 学校
- 幼稚園・保育所(園)
- 病院・診療所・歯科医院

学校

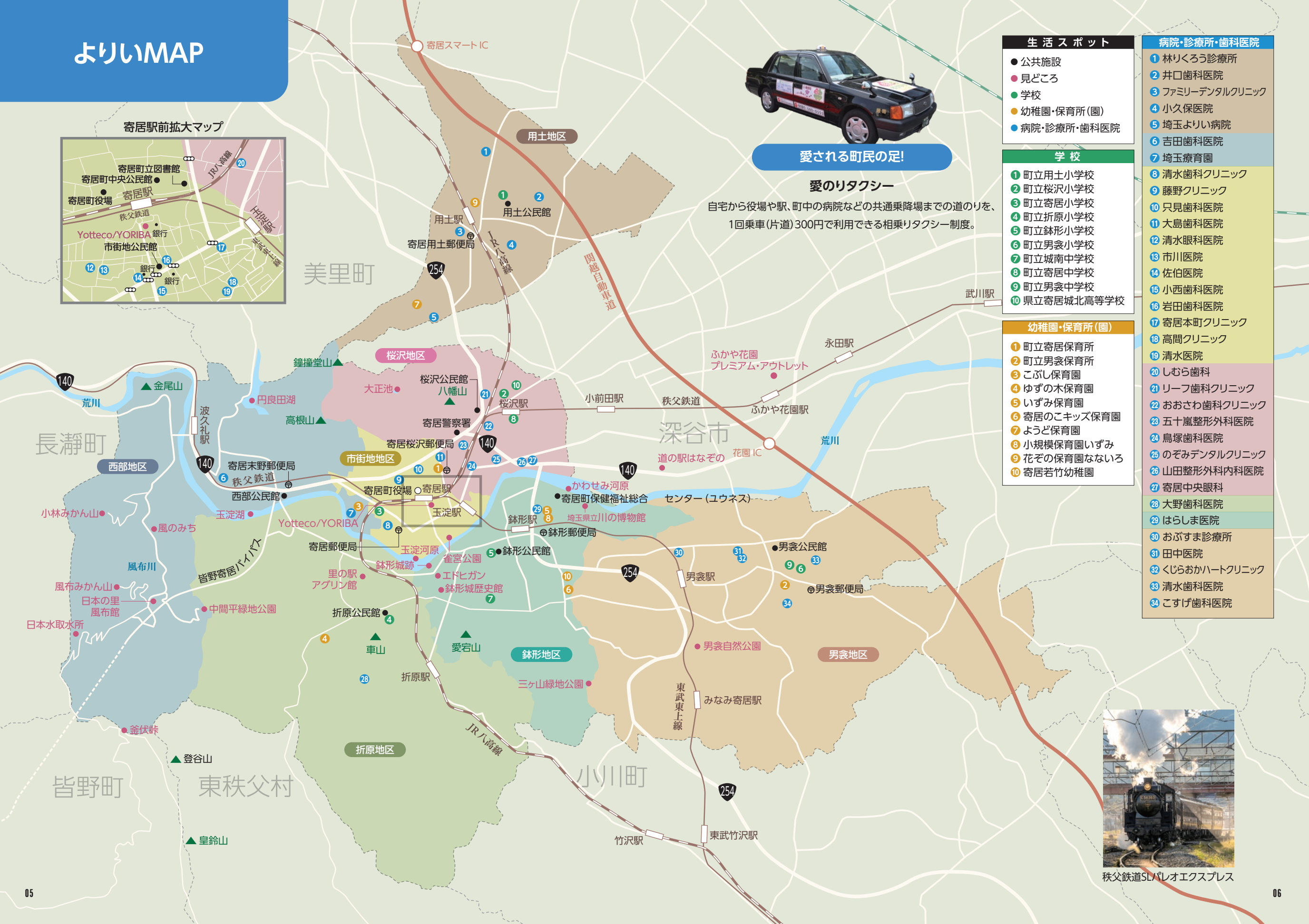
- 1 町立用土小学校
- 2 町立桜沢小学校
- 3 町立寄居小学校
- 4 町立折原小学校
- 5 町立鉢形小学校
- 6 町立男衾小学校
- 7 町立城南中学校
- 8 町立寄居中学校
- 9 町立男衾中学校
- 10 県立寄居城北高等学校

幼稚園・保育所(園)

- 1 町立寄居保育所
- 2 町立男衾保育所
- 3 こぶし保育園
- 4 ゆずの木保育園
- 5 いずみ保育園
- 6 寄居のこキッズ保育園
- 7 ようど保育園
- 8 小規模保育園いづみ
- 9 花ぞの保育園なないろ
- 10 寄居若竹幼稚園

病院・診療所・歯科医院

- 1 林りくろう診療所
- 2 井口歯科医院
- 3 ファミリーデンタルクリニック
- 4 小久保医院
- 5 埼玉よりの病院
- 6 吉田歯科医院
- 7 埼玉療育園
- 8 清水歯科クリニック
- 9 藤野クリニック
- 10 只見歯科医院
- 11 大島歯科医院
- 12 清水眼科医院
- 13 市川医院
- 14 佐伯医院
- 15 小西歯科医院
- 16 岩田歯科医院
- 17 寄居本町クリニック
- 18 高間クリニック
- 19 清水医院
- 20 しむら歯科
- 21 リーフ歯科クリニック
- 22 おおさわ歯科クリニック
- 23 五十嵐整形外科医院
- 24 鳥塚歯科医院
- 25 のぞみデンタルクリニック
- 26 山田整形外科内科医院
- 27 寄居中央眼科
- 28 大野歯科医院
- 29 はらしま医院
- 30 おぶすま診療所
- 31 田中医院
- 32 くじらおかハートクリニック
- 33 清水歯科医院
- 34 こすげ歯科医院



秩父鉄道SLパレオエクスプレス

移住者 インタビュー

interview

子育て編

寄居町に来てよかったと毎日思っています。



河手俊律（かわて としのり）さん、徳子（のりこ）さん

令和 5 年 4 月に埼玉県南部から移住。夫の俊律さんは高校の教師を、妻の徳子さんは「食料自給係」（本文参照）として農園やレストランの手伝いをしながら、3人（9歳、7歳、4歳）の子どもたちと暮らしている。

移住することになった経緯は？

徳：きっかけは、コロナが一番大きいかな。自分たちの食べる物を、お金でしか買えないというのが怖くなってしまった。私が「食料調達部隊になる」って先に仕事を辞めて、自然栽培の農家さんを訪ねました。それから1年、私が楽しそうにやっていたら、「じゃあ、来年の3月で俺は辞める」みたいに言い出したので、私としては「よく決断した！」と思いました。

俊：新しい勤務先が毛呂山なので、越生町とか小川町とか、ときがわ町辺りから住まい探しがスタートしました。

徳：寄居町はノーマークだったんです。引っ越しの期限まであと3ヶ月になった令和4年の年末になっても全然

決まらなかったのが焦っていました。「これはもう背水の陣でいこう！」って、思い切って住んでいた家売りに出したんです。そうやって自分たちを追い込みました。そのことを笑い話として、よく行ってた自然食品屋さんに話したら、すごい心配してくれて。「友達が寄居に住んで、今度フランスに行くっていうから、そこに住んだら？」と今の家を紹介してくれました。古い家だったので最初は心配になったのですが、中に入ったらすごい素敵で！そういった経緯で寄居に来ることになりました。

移住してきて感じている印象や、ご自身の変化は？

徳：寄居町に来た感想は、「もう、最高！」です。まず人が優しい。みんな優しい。損得で考えてないっていうか、相手に喜んで欲しいから「野菜食べなよ」と分けてくれたり。学校の先生も、少人数だからみんなゆったりと構えている。その点も凄く良かったです。

うちの子たちは元々、外で遊ぶのが好きで、都会に住んでいた時には裸足で出てきたら心配されてしまうけど、ここだと「元気があっていいね！」と、ポジティブに皆さん言ってくれる。本当に育てやすいと感じています。

俊：動き方はそんなに変わらないんですけど。やっぱり都会に住んでると、時間に追われたり、「便利が幸せである」みたいな考えが強くて。時間の流れも早いし。子どもたち

も、子どもらしさを殺してたところがあるのかなと思っています。自然に触れることが、子どもたちにとっての一番になると、こうも大きく変わるのかと驚きました。

僕達も、朝起きたら川が見える、自然の変化が見れるっていうのは、すごく幸せな気持ちにさせてもらえています。そういう意味で本当に良かったと毎日思いますし、人生の豊かさというものを、今、考え直させられているのかなっていうのは凄く感じながら、毎日生活しています。

徳：地元の人が「寄居に何で来たの？」とか、「なにも無いじゃない！」とか言われるけど、すごく豊かですよ。寄居町には「何でもある」、そんな気がします。



移住を検討してる皆さんへのメッセージをお願いします

俊：移住してみた感想は、いい意味で大したことありませんでした！自分の信念とか、やりたいことがあっても、仮に無くて、住んだらどうかなります。

徳：ほんと、なんとかなるよね。

俊：未来のことを考えちゃうと、すごく慎重になったり、不安になったり怖れが出てくると思います。でも、移住を考えてる人は、慎重になりすぎずに決断しても、後悔はないと思います。

徳：みんな、考えすぎてる気がします。住んだらどうな

るとか、自分がどんな得があるとか、そういうことばかり気にしているけど、実際に足を運んで、自分がどう感じるかのほうが大事だと思います。実際行って、その場の空気を吸って、自分で「ああ、ここの地域いいな」とか、「あ、ここの地域ちょっと違うな」というのを感じたほうが、その人に合う地域が見つかると思います。

移住者 インタビュー

interview

起業編

寄居町は「可能性都市」です。



馬場吉成（ばば よしなり）さん

工業系ライターの傍ら、東京都内で居酒屋を10年経営。寄居町との二拠点生活を経て、令和5年6月に完全移住。寄居町内でランステーション機能を備えた飲食店「門口寄居（かどぐちよりい）」を令和7年1月にオープン。

移住することになった経緯は？

40歳ぐらいから、都内で日本酒専門の飲食店を10年ぐらいやっていました。ライター業は、飲食店をやる少し前から始めていました。令和4年の1月に、10周年で店を閉めて、寄居町に移住しました。

元々、10年おきぐらいで“波”が来るんです。節目というか、周りの環境とか、自分自身の生活スタイルに変化が出てくる。だから、移住したきっかけは、この節目に田舎暮らしをしてみたいなとか、新しいことをやってみようってなったことからです。

お店自体は、もう10年でも続けられるぐらいお客さんも来ていたし、常連さんもついていました。ただ、10年

で“波”が来るって考えたとき、今50歳で、次の波で60歳になります。体力的にも難しくなるよな、その頃に飛び出すのが難しいなって考えた時には、「じゃあ、ここでまた一波を起こしてみようか」と思ったんです。最初は二拠点生活で始めたんですが、すぐに「寄居町だけで充分じゃないか」という話になりました。それで都内の家を手放して、寄居町に完全移住するという流れでした。



起業する上での寄居の環境はどう思いますか？

「可能性都市」ですよ。起業する上で、まあ、良くも悪くも何も無い。手を付けられてないところだと思います。ですから、競争が少なく、今だったら自由にいろんなものが始められるんじゃないかと思います。あとは、昔は閉鎖的だったらしいですけど、今は起業する上で、やり易いんじゃないかと思います。町民向けで事業を考えた場合は、人口も少ないし、年齢層も高いので、業種や集客が限られますが、広い面で見てみると、

熊谷まで電車で30分。都内まで電車一本で1時間半程度で行くことができます。そういった点を踏まえると広い商圏を持っていて、可能性を秘めていると思います。電車の路線も3線通ってますし、車の移動考えた時には、花園インターが近くにあります。だから、お客さんも車で訪れて、寄居町で何かを消費して帰ってもくれる。



移住を検討してる皆さんへのメッセージをお願いします

生活はしやすく、アクセスがよい。また緑の濃さが、本当にジャングルみたいな大自然ではないし、かといって建物ばかりの都市でもない、程よく自然がある町です。だからといって、プライバシーが無いわけでもなく、完全にドライなわけでもない。みんな、中学生でも小学生でも、知らない人でも、すれ違えば挨拶してくれる。そういう人との距離感がほどよいところも住みやすい理由

だと思います。地域に入っていくと思えば、すぐに入れてくれるし、行事でも、断れば無理矢理に「決まりだから」と強制されることもあまり無い。自然も、都市からの距離も、人との距離も、非常にほど良い町だと思います。

寄居町で育てる

Yori-Ca(ヨリカ)ポイントとは…
寄居町が発行する町独自の電子地域通貨です。
町内のヨリカ取扱店にて、
1ポイント=1円でお買い物ができます。

妊婦のための支援給付金支給事業

妊娠の届出をした妊婦を対象に50,000円、妊婦等包括相談支援事業で面談した妊婦を対象に支援金を支給します。

問い合わせ すくすくテラス

妊婦等包括相談支援事業

妊婦や子育て世帯が安心して出産・子育てができるよう助産師等による相談支援を行っています。
また出産前には、パパママ学級や個別マタニティレッスン、出産後には、産後ケア事業やショートステイ事業などが利用できます。

子育て支援交付金

生まれた子どもの保護者に、子育て家庭の経済的支援と、子どもの誕生への町からの祝意から子育て支援交付金をYori-Caポイントで支給します。
第1,2子 30,000ポイント
第3子以降 50,000ポイント

問い合わせ すくすくテラス

こども医療費支給事業

子どもが必要とする医療を受けやすくするため、医療費等を支給します。18歳に達する日以後の最初の3月31日までの児童が対象です。

問い合わせ 子育て支援課

寄居町のおすすめ子育てスポット

親同士、子ども同士の交流の場です。年齢ごとに楽しめる事業やイベントも行っています。
町内には、民間の子育て支援センターも4施設あります。



寄居子育て支援センター(寄居保育所内)
寄居町大字寄居1333-5



男衾子育て支援センター(男衾保育所内)
寄居町大字富田152-14

令和6年度より

笑顔満タンすくすく教室

保育所(園)の児童に対して、体操指導や英語学習を実施します。
体操指導は、3歳児～5歳児クラス、英語教室は5歳児クラスを対象に行います。

問い合わせ 子育て支援課

放課後児童健全育成事業 利用料補助金

学童保育施設の利用者に対して月額1,500円の利用料補助を行います。

問い合わせ 子育て支援課

より・E小学生英語塾

小学6年生を対象に、英語に対する興味・関心を高める授業を無料で実施しています。(対面型・オンライン型・オンデマンド型)
入塾者のうち、希望する児童の英検5級受験を無償としています。

問い合わせ 教育指導課

より・E土曜塾

中学1～3年生を対象に、希望する進路の実現と確かな学力育成のため、進路対策や定期テスト対策、英検対策などの講座を無料で実施しています。(対面型・オンライン型・オンデマンド型)なお、希望する生徒の英検受験を無償としています。

問い合わせ 教育指導課

中学生海外相互交流事業

寄居町と友好宣言書を交わす米国オハイオ州メアリズビル市と協力し、互いの市町に中学生を派遣しあう交流事業を実施しています。

問い合わせ 生涯学習課

算数検定実施事業

小学2～6年生を対象に町費で算数検定を実施しています。
自分で選択した検定級に挑戦します。

問い合わせ 教育指導課

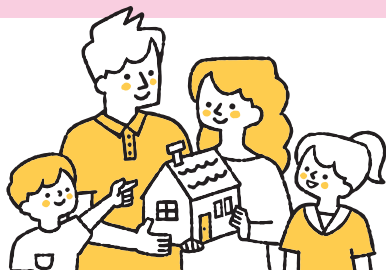


高校への
通学も便利!



寄居駅は鉄道3線が乗り入れているため、沿線の高校への通学がとても便利です。
さらに、深谷、本庄方面にも私立のスクールバスが発着していることから、高校進学への選択肢が広がります。

寄居町に住む



まちなか居住促進補助金

18歳以下の子どもがいる世帯、または39歳以下の方が、市街地・男衾地区の居住誘導区域内で住宅を取得する場合、住宅取得費の一部を補助(最大80万円)します。

問い合わせ まちづくり整備課

エコハウス推進事業補助金

寄居町民または新たに町民となる方で、自ら居住するための住宅に太陽光発電設備等の機器を設置する場合、費用の一部を補助します。1機器あたり7万円(一部機器は3万5千円です)。*まちなか居住促進補助金の交付決定者は1機器あたり10万円を加算

問い合わせ 生活環境エコタウン課

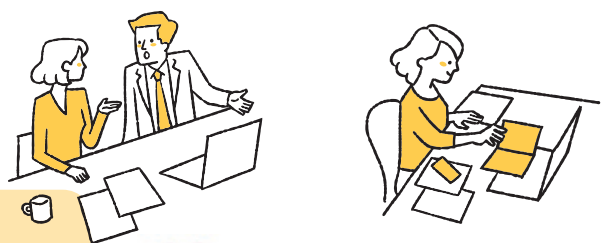
住宅改修資金補助制度

町内の住宅改修施工業者と契約し居住用住宅の改修を行う際、その費用の一部を補助。
上限:20万円

問い合わせ 産業振興企業誘致課

＼こちらも要チェック／
埼玉県北部地域空き家バンク制度
空き家の売却や賃貸を希望する方から提供いただいた物件情報を移住・定住を希望する人へ紹介しています。

寄居町で働く



YORIMaMa(ヨリママ)

寄居町の働きたいママの味方。町が民間企業と協定を結び運営している、町在住のママ向けの在宅お仕事支援サービスです。
ライフスタイルにあわせてお仕事ができます。詳しくは公式ホームページをご覧ください。

問い合わせ 産業振興企業誘致課



公式ホームページはこちらから。

よりいジョブセンター

町とハローワーク熊谷が連携し、職業相談や求人検索、セミナーや面接会を実施しています。また、内職相談(毎週火・金曜日実施)や障害者対象の就労支援も行っています。
利用時間:月曜日～金曜日(祝日、年末年始を除く)、午前9時～午後5時
電話番号:048-586-1331



空き店舗補助金

町内該当地区内の空き店舗等の改装や宣伝広告費の一部を補助します。

費目	店舗改修費	宣伝広告費
飲食業等	上限200万円	上限5万円
飲食業等以外	上限50万円	上限2万5千円

(取組事業内容により店舗改修費が上乗せされます)

問い合わせ 産業振興企業誘致課



泊まれるオーガニックレストランmujaqui(むじゃき)

よりい週末有機農業塾

農業にこれから取り組みたいと考えている方、農ある暮らし、自給的な農業に興味のある方を対象に開催中。毎年4月に参加者を募集しています。

問い合わせ 産業振興企業誘致課



＼農業を始めるハードルがぐっと下がった／

寄居で就農したいと思ったら

Q.農地はどう探したらよいですか?
A.まずは、農地を借りて就農することをおすすめします。町が農地を貸したい人とのマッチングを行っています。貸借の手続きもありますので、下記担当へご連絡ください。
※なお、農地を購入する場合には、農地法の許可が必要です。農地法が改正され、令和5年4月から農地取得の下限面積要件は廃止されています。

問い合わせ 産業振興企業誘致課